オンライン「超入門！学級経営セミナー」で出た好意見

第2回分

★セミナーの中で素晴らしいノウハウがたくさん集まりました！学生さんや若手の先生の助けになればと思い、シェアします！

授業中のルールに関する指導

・話を聞くときの決まり「聞き方あいうえお」を指導した。

「あいてを見て・いい姿勢で・うなずきながら・えがおで・おわりまで」

★河村コメント：話を聞くときに生じるネガティブな反応、トラブルの原因になりそうな反応に対し、対になる行動を「あいうえお」で示していますね。「そっぽを向いてはいけません」ではなく「相手を見て」、「床に寝転がってはいけません」ではなく「いい姿勢で」、否定的・肯定的ではなく「うなずき・笑顔で」、というように、ポジティブな約束を先に決めた事例です。

・発言のルール「はい・立つ・です」

★河村コメント：近年、「見た目を整える指導は教育にあらず」というような言説も見られますが、「見た目を整える」というのは多くの場合、問題となる行動と両立しない行動です。例えば敬語と粗暴な言葉を同時に使うのは至難の技ですよ。シンプルな型をあらかじめ決めておいたほうが争い事が少なくスムーズにまわるクラスもあると思います！

・何かを決めるときはじゃんけん等ではなく相談で（通級）

★河村コメント：言葉によって問題を解決するというのは高度なスキルを要しますが、それがトレーニングできた場合、その子の受ける恩恵は計り知れません。「通級の担当の先生がいない場面でも大丈夫」という状況をつくるために、言葉で相談し、支援を要請したり意見を折衷したりというスキルを身につけるのは大切です！

※この回のセミナーで重要でありながら本書に河村が書き忘れていたことが発覚！！

・授業中、課題が終わった後の仕組みについて書き忘れた！

→「やることがない」という状況は大きなリスクを伴います。終わった後は何をすれば良いのかあらかじめ決めておきましょう。

・エラーが生じた時の対処方法の指導について書き忘れた！

→問題がわからなかったときに質問する、質問が恥ずかしければ「教えてカゴ」のような提出場所を用意しておいてそこにプリントを入れておけば後で教えてもらえるなど、生じるエラーはあらかじめ洗い出し、その対処法まで含めて教えておくと教室が幸福に保たれます。

・少数のルールを徹底させる方が上手くクラスについて書き忘れた！

→「好き放題」のような状況が生じた翌年度に一気にルールを増やすと反発が生じやすくなります。仮に子ども主導で話し合っただけでルールを決めたとしても、ルールを覚える負荷、把握できなかったらどうしようというプレッシャーなど、急激な約束事の増加は様々なリスク

を伴います。ごく少数の約束事を決めてそれだけは徹底し、ほかはおおらかに行いつつ徐々に細部を指導する、という流れがうまく行くクラスもあります。

給食指導のノウハウ

・配膳が早くできるよう役割分担。待っている子のルールを決めておく。

★河村コメント：学級経営においてスムーズに活動が進行することは大切ですね。ただでさえお腹が空いている中、進行が滞ったらみんなイライラし始めます。それから重ねてですが「やることがない状況」というのは大きなリスクを伴います。待っている間の過ごし方についても丁寧な指導をしていて素晴らしいです！

・タイムを測る。

★河村コメント：これはガッツリ先行研究があって、準備時間をフィードバックするとタイムが短くなります。「こぼさないよう安全に」「急かさず励ます」など、想定される副作用を洗い出し、対策をしながら実践できると良いですね！

・配膳当番を一定期間固定にすることで慣れることできるようにする。

★河村コメント：当番を全員一気に変えてしまうと指導が降り出しに戻ってしまうので、ある程度固定するという方法ですね。「慣れる」「飽きる」のバランス取りを上手にとると、配膳がスムーズに進みそうですね！

掃除の指導についてのノウハウ

・担任の目の届く範囲のみを掃除する。

★河村コメント：「このクラスは流しと理科室」というように分担が割り振られているクラスもあると思いますが、指導を開始する時期には教師の目の届くところで練習を積んだほうがアクシデントが予防できそうですね！

・掃除分担を一定期間同じにする、そのうちの何名か担当がずれていく。

★河村コメント：給食指導の方にもありましたが、当番を一気に変えると指導がリセットされて振り出しに戻ってしまうことがあります。少しずつ担当を変えることで「班の中で担当場所の新人が1人、他はベテラン」という状況を作ることができるため、安定的な掃除への参加に相当貢献しそうですね！

・（特別支援学級にて）ほうき・ぞうきん・黒板・プレイルーム当番を決める。プレイルームは他のクラスも共有で使う場所なので、全クラスから1名ずつが集まってきて、縦割り掃除になる。また、この場所は、通常級の4年生のクラスからもお手伝いにくることになっており、支援級と通常級の協働的な学びができる場所にもなっている。

★河村コメント：特別支援学級のたてわりプラス、通常学級との連携もしているケースです。掃除はほぼ毎日あるので、行事などの交流よりも日常的な人間関係を形成できそうですね！